原典から読み解く神話の舞台「古代出雲」

神々の国・出雲を描いた『出雲国風土記』を精読、古代出雲国の実像を徹底的に解明する。主要写本を参照した最良の校訂本文、詳細な注釈を付した読み下し文、多分野にわたる最新知見を盛り込んだ論考を収録

出雲国風土記
―校訂・注釈編―

島根県古代文化センター 編

2023 年 3 月 31 日刊行　定価 5,500 円（本体 5,000 円＋税 10%）
A5 判・上製・カバー装・736 頁＋カラー口絵 4 頁　ISBN978-4-8406-2262-2 C3021 ¥5000E

【目次】

カラー口絵／序／例言
総論
佐藤信
風土記の編纂と『出雲国風土記』の成立
荒井秀規
史料としての『出雲国風土記』
伊藤剣
〈記載文学〉としての『出雲国風土記』の文学性
山村桃子
『出雲国風土記』の神話の性格
髙橋周
『出雲国風土記』の写本と写本系統
野々村安浩
近世・近代における『出雲国風土記』の受容と研究
総説
校訂本文
読み下し文／補注／参考文献
本文索引

【本書の特長】

① 『出雲国風土記』を学際的に考察した論考を収録。様々な視点からテキストを分析。

「総論」では歴史学・文学の研究者の最新論考を収録。神話・伝承の分析、風土記から窺える古代出雲の諸相、『出雲国風土記』の写本系統、その受容・研究の歴史など、その内容は多岐にわたる。

「総説」では郡家／寺／交通路など、テーマごとに『出雲国風土記』を簡便に解説している。

② 主要 7 写本を用いた校訂本文・読み下し文と 200 頁にわたる詳細な注釈。

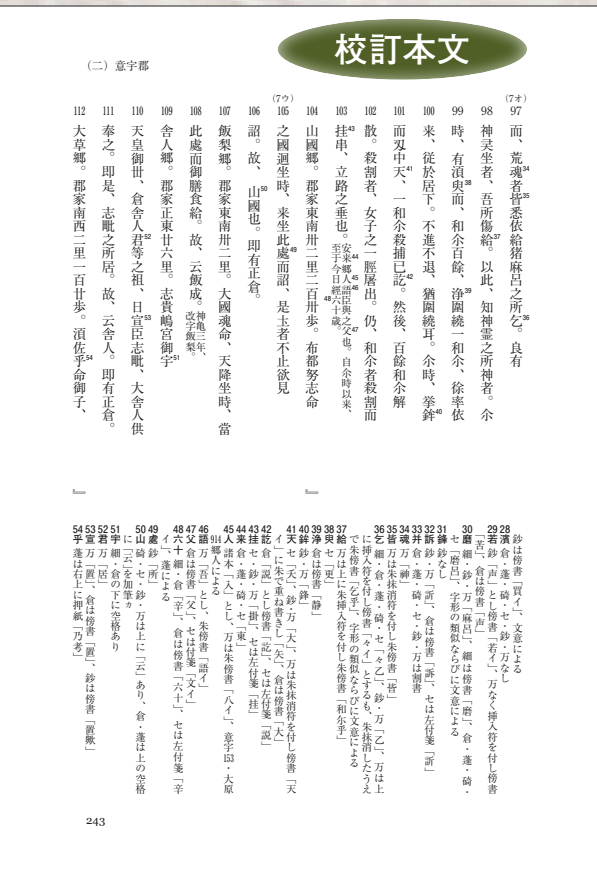
「校訂本文」では細川家本（永青文庫所蔵）を底本とし、他 6 写本と対校したテキストの決定版を掲載。他史料や写本系統を踏まえた詳細な校訂注を付す。テキストは〔地図・写本編〕【2022 年 3 月既刊】で検証することが可能。

「読み下し文」には本文の内容を簡潔に注釈した「下注」を付し利用の便宜を図った。また 200 頁以上にわたる「補注」は、『出雲国風土記』を語句レベルで詳細に注釈しており、これまでの研究を集大成し最新の知見を提示する。このほか、〔地図・写本編〕とも連動する便利な「本文索引」を収録した。

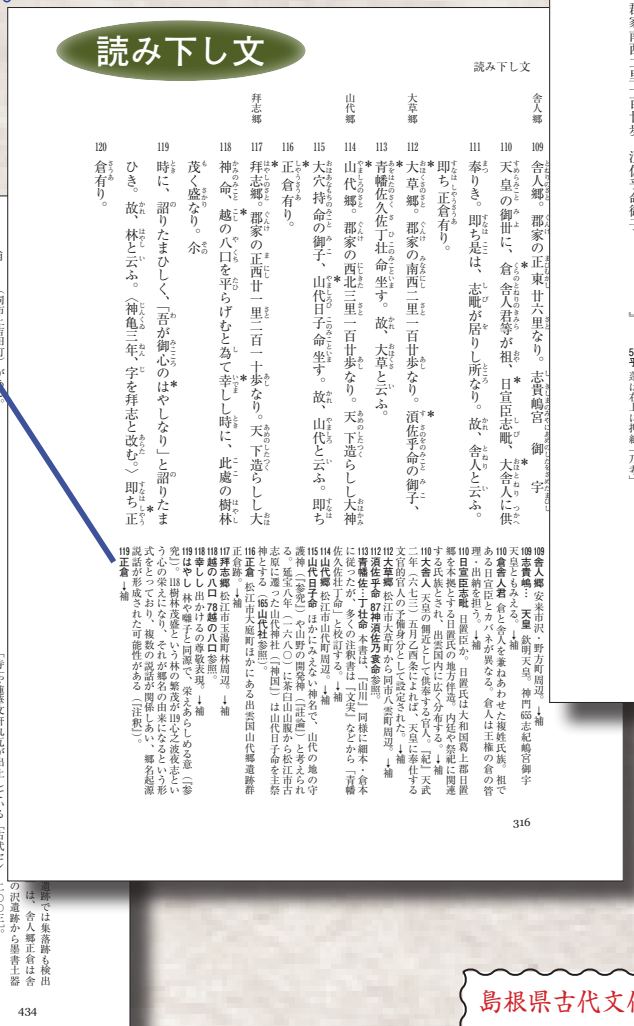
八木書店　〒 101-0052　東京都千代田区神田小川町 3-8
Tel:03-3291-2961 ／ Fax:03-3291-6300　pub@books-yagi.co.jp/　https://catalogue.books-yagi.co.jp/

本文見本（55% に縮小）

校訂本文



読み下し文



補注

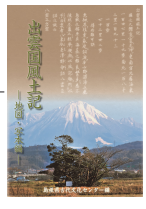
読み下し文下注と詳細な補注
下注でテキストの概要を理解し、
補注で語句・内容の詳細を把握。
注釈はこれまでの研究を集大成。
最新の知見を盛り込む。

主要７写本を用いた校訂本文
底本である細川家本（細）の体裁
を参照し、１行ずつ番号を付す。
詳細な校訂注は〔地図・写本編〕
の〔写本編〕で検証が可能。

島根県古代文化センター編、2022 年３月、八木書店刊行

『出雲国風土記―地図・写本編―』発売中！

〔地図・写本編〕は〔校訂・注釈編〕の姉妹編。地図上に風土記にみえる地名産物等を落とし込んだ〔地図編〕と、主要７写本画像を掲載した〔写本編〕、出雲の古代交通路を復元した論考を収める〔特論編〕から成る。〔校訂・注釈編〕の校訂本文番号は〔地図編〕〔写本編〕と対応し、セットで利用すると便利である。



ISBN 978-4-8406-2253-0 C3021 ￥8000E
A4 判・上製・カバー装・648 頁
定価 8,800 円（税込み）

『出雲国風土記』とは――

奈良時代初め、律令政府は産物・地名・古伝などを報告するよう諸国に通達した。この命により各国で作成されたのが風土記である。風土記の大半は現在散逸してしまったが、『出雲国風土記』は唯一のほぼ完存する風土記として知られる。『出雲国風土記』は天平５年（733）に出雲国造兼意宇郡大領である出雲臣広嶋らが提出したもので、奈良時代の地方の実情を知る上で不可欠な、古代史研究上、最重要の史料の一つである。

ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書

島根県古代文化センター編／八木書店刊　　2023 年 3 月 31 日刊行

出雲国風土記（いずものくにふどき）―校訂・注釈編―　〔　　〕冊

ISBN978-4-8406-2262-2 C3021 ¥5000E　定価 5,500 円（本体 5,000 円＋税）

【既刊】出雲国風土記－地図・写本編－　〔　　〕冊

お名前（ふりがな）

ご住所　〒

TEL

FAX

E-MAIL

取扱店（番線印）